

# 令和5年度 事業計画

## 事業概要

### 【期 間】

令和5年4月1日から令和6年3月31日

### 【概 要】

当財団は公益法人として、公益法人制度の趣旨に鑑み、公益性の高い法人運営を行っていく。

普及啓発事業においては、田んぼ体験や観察会の開催など野外における体験学習を実施するほか、新潟市が令和4年11月に「ラムサール条約湿地自治体」※の認証を受けたことを記念し、通常のプログラムに合わせ、参加者に新潟市の魅力を発信するとともに湿地への関心を高める内容とする。また、様々な分野の専門家や研究者を講師として招聘し、講演会や体験プログラムを実施する。その他、学校等を対象とした校外学習や講師派遣、学校向けワークシートの拡充・提供などを通し、教育施設との連携を引き続き図っていく。

調査研究・保護継承事業においては、野生水族に関する生息調査等を行い、地域の自然史に関する知見を蓄積する。

水生生物の展示及び飼育事業（水族館事業）では、5年間の指定管理期間の最終となる5年目の管理運営を行う。適切な管理運営に努めるとともに次期の指定に向け魅力ある提案を行い、今後も健全な法人運営ができるよう引き続き新潟市水族館の指定管理者を目指す。

新型コロナウイルス感染症に対する制限が緩和されつつあるが、新潟市水族館の指定管理者として来館者の安心・安全を第一に考え、新潟市水族館の設置目的と「新潟で一番愛される施設」という私たちのビジョンを達成するため、一層の来館者の満足度向上に努める。

※湿地の保全・再生、管理への地域関係者の参加、普及啓発、環境教育等の推進に関する国際基準に該当する自治体に対してラムサール条約に基づき認証を行うもの。鹿児島県出水市とともに、日本の自治体として初めて認証を受けた。

### 【事業名】

#### 公益目的事業

- 1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業
- 2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業

#### 収益事業

- 1 施設管理に付帯する事業

## 公益目的事業

### 1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業

#### 【事業目的】

新潟における海洋・河川文化の現状や変遷を調査研究及び情報発信することにより、海洋・河川文化及び海洋・河川等と人との関わりの大切さを後世に継承し、併せて地域社会の持続的発展の担い手を育む。

#### 【主な事業内容】

##### (1) 海洋・河川文化の普及啓発

区 分	名 称	プログラム等	内 容
体験学習	ラムサール条約湿地 自治体認証記念事業※ 田んぼ体験	田植え	稲作体験（田植え・稲刈り・脱穀）と、収穫したわらを利用したわら細工体験を通して、新潟の稲作の文化や田んぼの環境、生息生物と人との関係、併せて田んぼが湿地の重要な要素であることから、湿地に対する保全・再生、環境問題等を学ぶ。
		稲刈り	
		脱穀	
		わら細工	
	野外観察会	スナガニ 野外観察会	砂浜でスナガニの採集・観察を行い、雌雄の見分け方等を学ぶ。また、巣穴構造を知るために石膏で型を取る。
		貝の標本づくり	地先海岸で貝の採集を行い、採集した貝を用いて種の同定方法と標本作製の手順を学び、標本を作製する。
		ラムサール条約湿地 自治体認証記念事業 潟の観察会	上堰潟と周辺の水路で水生生物を採集して観察し、生物だけでなく、潟の環境や生態系などについても学ぶ。
海辺の漂着物探索		地先海岸を散策しながら打ち上げられた漂着物を収集・観察し、海の環境問題を考える。	
講演会	マリンピアカレッジ	カマイルカの音	・講師：東京海洋大学 助教 三島由夏氏 ・カマイルカ特有の鳴き交わし音について解説し、仔イルカの音についても紹介する。
		クラゲ	・講師：鶴岡市立加茂水族館 館長 奥泉和也氏 ・日本海で見られるクラゲを中心に、その増え方や不思議について解説し、刺胞発射実験や餌を与えて形態や摂餌の様子を観察を行う。
		フィッシュカー ピング	・講師：日本自然環境専門学校 講師 関谷浩氏 ・新潟の森林について解説し、木を削って作った魚の形に色を付けて魚の木彫り製作を行う。

	特別講演会	ラムサール条約湿地 自治体認証記念事業 研究者が語る新潟 県の淡水魚とコシ ノハゼ	・講師：生物多様性保全ネットワーク新潟 事務局 井上信夫氏 国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究センター 主任研究員 千葉悟氏 ・新潟県の在来生物の保護活動と外来生物対策に取り 組んでいる井上信夫氏が新潟県の淡水魚について、 また、コシノハゼ研究の第一人者である千葉悟氏がコ シノハゼの生態について、各々講演を行う。
各種施設 との連携	出張展示	市場まつり 県主催イベント など	館外へ出向いて、水生生物の生体展示、活魚輸送車の 展示、クイズ大会やワークショップなど楽しく学ぶ機 会を提供する。
	社会教育施設連携	ラムサール条約湿地 自治体認証記念事業 舟にのって水草刈 りと泥上げ体験	新潟市歴史博物館との連携プログラム。潟の環境整備 と水田に栄養分を添加することを目的に、にいがたフ ィールドの砂丘湖で舟から草刈りをする体験とため 池で上げた泥を田んぼに入れる体験をする。また、水 田と潟の歴史的な関係について講演を行う。
	学校教育施設連携	総合学習の受入	水に棲む生物やその飼育等に関して、学校からの依頼 内容やテーマに合わせて、写真や資料を用いて講義す る。
		実習生の受入	専門学校生、大学生を対象に飼育実習、獣医実習、博 物館実習を行い、実際の現場で飼育技術や展示技術な どを学んでもらう。
教育現場への講師 派遣		アウトリーチ事業の一環として学校等へ赴き、野外観 察などの指導、生物や仕事についての講義・指導を行 う。	

※新潟市が認証を受けたことを記念する事業…湿地への関心を高め、新潟市の魅力や可能性を知ってもらう内  
容を含む事業。

## (2) 海洋・河川文化の調査研究

区分	名称	内容
研究発表	J A Z A (日本動物園水族 館協会) 関連	水族館技術者研究会、海獣技術者研究会、イルカ会議など
	J A A (日本水族館協会) 関 連	トレーニングセミナー、水族館研究会など
	その他研究会・学会	日本動物園水族館教育研究会、さけます等栽培対象資源対策事業な ど
各種会議	J A Z A 関連	生物多様性委員会、種保存会議、設備会議、事務主任者会議など
	J A A 関連	寄鯨会議、広報セミナーなど

	その他会議	新潟県博物館協議会、大都市動物園水族館事務主管者会議、新潟市里潟研究ネットワーク会議など
--	-------	--

### (3) 海洋・河川文化の保護保全（生物種の保全を含む）

区分	名称	内容・回数
生息域内 保全	シナイモツゴ調査	県内の希少淡水魚の生息調査・2回
	ホトケドジョウ調査	県内の希少淡水魚の生息調査・1回
	コシノハゼ調査	県内の希少淡水魚の生息調査・5回
	キタドジョウ調査	県内の希少淡水魚の生息調査・2回
	ハクバサンショウウオ調査	県内の両生類の生息調査・2回
	タダミハコネサンショウウオ調査【新規】	県内の両生類の生息調査・2回
	ウミガラス調査【新規】	北海道の鳥類の生息調査：1回（東京都葛西臨海水族園と環境省の調査に同行）
連携調査	ROV（水中探査機）	佐渡海峡深海生物調査・1回（ふくしま海洋科学館との共同）
	親子魚探検（五泉・新発田）	生物多様性保全ネットワーク主催の自然観察会への講師派遣・2回
	水あぶり（関川）	タランベクラブの自然観察会への講師派遣・1回

## 2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業

### 【事業目的】

新潟の自然環境とそこに生息する水生生物の展示を基礎としながら、多種多様な環境の生物を展示し、各種体験型プログラムを実施することで、市民が海洋・河川や水生生物などに親しむ機会の充実などを図り、海洋・河川に関心を持つきっかけとなる機会を創出する。

### 【主な事業内容】

#### (1) 水生生物に関する知識の普及振興

名称	プログラム	内容
企画展示	カマイルカの繁殖 （春季）	2019年から4年連続で繁殖に成功したカマイルカについて、妊娠・出産・仔イルカの成長記録などを紹介する。
	魚の色 （夏季～冬季）	生息環境と体色の関係や生存戦略などを生体やパネルなどを用いて紹介する。
	ペンギンパネル展 （翌春季）	新潟市水族館で展示しているペンギンの飼育や繁殖の取り組みなどをパネルや偽卵などの飼育機材を用いて紹介する。
	フォトコンテスト	新潟市水族館で撮影した写真をWeb上で公募し、コンテストを実施する。受賞作品もWeb上で公開する。

いきもの教室	水族館の水	水族館で扱う様々な水について解説する。水族館で扱う水がどのように取り入れられているかを見学しながら解説し、海水と淡水の違いや水の汚れなど実験を行いながら学んでもらう。
	イカの解剖	イカの外側のつくりと解剖した体の内側のつくりや、生体の観察を行う。
	ビーバーのうんちペーパーづくり	ビーバーの生態を解説し、糞の観察と、糞を利用したペーパー作りを行う。
大人向け教室	写真教室	水族館の楽しみの幅を広げるため、水槽内の生物を撮影する際のポイントや工夫についてレクチャーを行う。
身体障がい者向け教室	サポートナイト	視覚に障がいのある子供とその家族を対象としたプログラムで、普段は暗い館内を明るくしてガイドを行う。
ガイドツアー	ナイトツアー	通常観ることのできない閉館後の夜の水族館で、昼と夜の生き物の活動の違いや外観の変化等をツアーガイド形式で解説し、水生生物の生態や自然環境への関心を深めてもらう。
参加型イベント	ラムサール条約湿地 自治体認証記念事業 にいがたフィールドガイド	新潟市の水辺環境を再現したにいがたフィールドの中で、自然環境や希少生物の域外保全を紹介する。また、湿地に対する保全・再生、環境問題等を考えるきっかけを提供する。
	育成室開放	通常入室できない本館地下の育成室を、職員立ち合いのもと入館者に開放する。
	イルカバックヤードミニガイド	イルカ飼育設備のバックヤードやステージを解説しながら案内し、イルカの生態について学んでもらう。
記念日イベント	ペンギンの日	世界ペンギンの日（4/25）に合わせ、ペンギンの生態や野生の現状について理解を深めてもらう。
	カワウソの日	世界カワウソの日（5月最終水曜日）に合わせ、カワウソ類の生態や、野生の生息状況などを解説パネルで展示するとともに、ユーラシアカワウソについての解説を実施する。

## (2) 水生生物の飼育、展示、収集

区分	名称	内容・回数
飼育展示	館内での飼育展示	600種20,000点を超える飼育規模を維持
常設解説	イルカショー	イルカの体のつくりや生態、運動能力について解説を行う・4～5回/日
	マリンサファリ給餌解説	トドに餌を与えながら、体のつくりや生態について解説を行う・2回/日
	ペンギン解説	ペンギンの分類や生態、生息地の環境について解説を行う・2回/日
	日本海大水槽解説	大水槽の展示生物の紹介や海洋環境、水族館のしくみの解説を行う・1～2回/日

	磯のいきもの解説	磯のいきものについて実際に触れてもらいながら解説を行う・1回/日
	アクアラボ体験プログラム	顕微鏡や大型モニターを用いて海の生物の実験的な解説を行う・1回/日
生物収集	相模湾乗船	サクラダイ、シキシマハナダイなど乗船釣り採集・1回
	佐渡乗船	エビカゴ漁乗船採集（深海生物）、定置網乗船採集（シイラなど）・5回
	寺泊乗船	刺し網漁乗船採集（アカムツなど）、定置網乗船採集（アオリイカなど）、底引網漁船乗船採集（ニギスなど）・10回
	出雲崎（アマモ採集）	アマモ場生物採集・10回
	能生乗船	ベニズワイ漁乗船採集（深海生物）・2回
	間瀬乗船	ハツメ・シキシマハナダイ・アカムツなど乗船釣り採集・5回
		底引き漁船乗船採集（アラなど）・3回
	和歌山県（串本）	スマ・ハガツオなど輸送・2回
	神奈川県（横須賀）	マイワシ輸送・3回
新潟県内淡水生物採集	カジカ大卵型・アブラハヤ・タナゴ類・水生植物など・5回	
生物交換	ふくしま海洋科学館	熱帯魚、深海生物など・5回
	東海大学海洋科学博物館	キンメダイ、キンギョハナダイなど・1回
生物搬入	伊勢シーパラダイス	フンボルトペンギン
	千葉市動物公園	フンボルトペンギン

## 収益事業

### 1 施設管理に付帯する事業

#### 【事業目的】

施設利用者に対する利便性を図るため、レストラン及び売店、自動販売機等の設置を行う。

#### 【主な事業内容】

区分	設置数・場所
レストラン	1ヶ所・本館2階
軽食	2ヶ所・屋外、屋上 ※季節・天候により営業中止
移動販売車	1ヶ所・アプローチ棟手前 ※季節・天候により営業中止
売店	1ヶ所・アプローチ棟
自動販売機	19台・館内、屋外各所
ロッカー	1ヶ所・アプローチ棟
記念メダル	2ヶ所・本館1階
プリクラ	1ヶ所・水辺の小動物